

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷/岳麓印刷株式会社

2013
No.201

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



さくら桜 そして今日見る このさくら 三たびの春を 我ら歩めり (俵 万智)
2013年4月 お花見福島邸

イルド

理事長 平井 章

インターネットに心得のある方への話です。

十字の園のホームページの中から、私の顔をクリックすると再度私の顔が出てきます。その画面の下端にある「平井塾」をクリックすると、私の書き込みが表示されます。毎週更新する予定です。興味ある方はお読みください。トップには、「ちょっと一言」「自己紹介・大切にしている事・趣味」のコーナーがあり、精神的基盤(聖書の言葉とメッセージ)、歴史、福祉、福祉会計の項目への書き込みもあります。知っ得情報も掲載予定。——「下さい」と「ください」の書き分け——「下さい」は「○○を」クダサイと動詞で使う時の書き方で、「お読み」クダサイのように補助動詞で使う時は「ください」になります。「漢字」と「ひらがな」の使い分けには、「行く/いく」「来た/きた」「見る/みる」があり、動詞で使う時に「漢字」になります。日本語の美しさを見た気がします。

看取りケアを考える

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

初代診療所の所長であり

ました林富美子先生の著書「夕暮れになっても光がある」に「人生の最終楽章」という箇所があります。人生を交響曲に、晩年の時を最終楽章に譬えられております。死は生の完成として、晩年をその人が生きてきた生涯にふさわしく、その人らしい尊厳ある時を迎えさせたいという思いが伝わってきます。そして、「この終わりの楽章で、最も美しくまとめあげられるためには、指揮棒を振るう寮母（介護職員）の手が必要です。」とあります。

それは、本人への関わりだけでなく、関係者との連携においても重要なことです。医学的な判断や施設の都合などが優先されるのではなく、身近に関わる介護職員が、意思を汲み取り、尊厳を守ろうとケアを続けること、そして、それに関係者は、共鳴しサポートしていくこ

とが大切です。

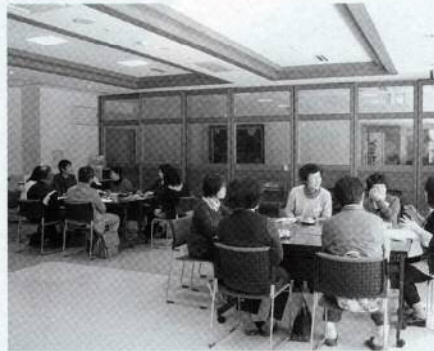
施設では、看取らせていただいた後ご本人を偲び、また、看取りに関する職員研修や評価、気持ちを整理する機会として、偲びのカンファレンスを開いております。最近の記録に、少しでも口から食事摂取し続けられるよう介護に努めたこと。食形態や栄養に配慮し、また、家族の希望をふまえて点滴や酸素療法を最小限に行い、可能な限り最後まで苦しめないように支援したこと。面会等しやすいう個室を準備したり、家族との連絡を密にして、一緒に看取れたことなどが記されております。家族の想いや介護職員のケアに連動し、医師、看護職、管理栄養士、相談員、ケアマネジャーなどが関わり共鳴していったことが伝わってきます。

ただ、ここ最近では病院などで亡くなる方が増えてきている傾向があります。当施設の退所理由を見てみます

「絆の会」の発足

（在宅家族介護者教室）

ふじぎくら 主任 高橋 直輝



二〇一三年三月十六日

（土）に第一回・御殿場十字の園「絆の会」（在宅家族介護者教室）が行われました。

この「絆の会」の発足の趣旨といたしましては、在宅にて介護をされているご家族等を対象に、①介護に役立つコツや知識をお伝えする教室として②介護のことについての情報交換の場として③リフレッシュになる参加者同士の交流の場として御殿場十字の園がお役に立てればと思ひ発足いた

しました。

今回は第一回目ということで、施設長より最近の介護・福祉に関する動向を簡単に説明させていただいた後、施設内を見学、そして今後の「絆の会」で取り上げて欲しい内容や現在、介護等で困っていることなどをいくつかのグループに分かれて話し合っていたいただきました。

日々、懸命に在宅で介護されているという同じ境遇をもったご家族がそれぞれの悩みや苦勞を共有し、時には



励まし合うといった場面も見受けられ、まだほんのわずかではありますが、ご家族間の間に「絆」が芽生えたように感じました。

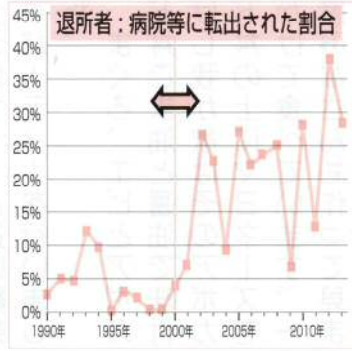
まだ、始まったばかりで課題もありますが今後、毎年三〜四回程度の開催を実施できればと考えております。

一人でも多くのご家族の方に参加していただき、より一層の「絆」を深めていただけるよう、私共も企画・運営をしていきたいと思ひます。



と、殆どの方は施設でお亡くなりになり退所されるのですが、介護保険が始まった二〇〇〇年を境にして、増減を繰り返しながらも病院や療養型の施設に転出される方が増えてきております。

措置から契約に変わり、家族の関わり方などが変化してきたのかもしれませんが、介護療養型医療施設が介護保険施設の一つとなり、選択肢が増えたことも要因として考えられます。



いずれにしても、命は最後まで本人自身の選択によるべきで、それが難しくければ、最も本人を愛おしく思っている家族等が決めること。最後をどこで迎えるかは、本人、家族等の意向で個別的に決まってくるのがまず前提となり、指

揮棒を振るう介護職員の役割です。日常のかかわりの中で、本人、家族等の「最後の迎え方」についての気持ちに敏感に受け止めていくことです。そして、それをふまえた説明が医師等からなされ、本人、家族等が納得して選択できるように支援することが大切です。

そこで、今年四月から診療所所長として新たに、常勤医師の成田恒一先生をお迎えできたことは大きな恵みであります。この5年程は非常勤医師による体制でありましたが、常勤体制となりました。普段の医療の充実はもちろん、看取りの時は過度な医療処置はしないにしろ、適時関わっていただけのことで、職員の精神的な負担軽減にもつながります。

看護職員の不足など、いくつか早急に解決すべき課題を抱えながらではありますが、新体制になり、今後も各職種が協働し、尊厳あるその人らしい暮らしを、そして、最後の時をより豊かに過ごしていただけるよう支援できたらと思います。

四十七都道府県 ご当地グルメ 食べあるきの旅

地域活動支援センター
くろっちょ主任：武藤 繁生

日本全国旨いものは数あれど、なかなか食べに行くことは難しい。そこで「四十七都道府県ご当地グルメ食べあるきの旅」を企画しました。くろっちょに居ながら全国各地の旨いものを食べ家族や友人に自慢してしまおうという旅企画です。

当日出されるメニューは〇〇県の料理といった形で、その県に合ったものを作ります。インターネットでB級グルメを取り寄せたり、レシピを集めご当地の味を再現しています。山形県



今回の食べあるきは岡山県。江戸時代初期の藩主池田光政の質素儉約令「食膳は一汁一菜」に怒った領民が、寿司飯に目一杯魚や野菜を混ぜ込み「一菜」、汁物「一汁」を添え「ほおれ一汁一菜ぢゃい！」と出来る限り派手に創りだした岡山名物です。しつかり『ままかり』も乗っています。



ひまわり

雑祭りパーティー

磯野 芳美



ひまわりグループでは毎月食のイベント活動を行い今月は三月二十二日(金)にちよっと遅い雑祭りパーティーを行いました。

まぐろ、エビとアボカド丼ごま油と醤油で味付けし我が家はそのアボカド丼の上にマヨネーズをかけて食べています。一度みなさんも作って見ませんか？きつと大好評だと思います。入居している皆さんだけではなく、職員も「とても美味しい！」と好評でした。ア



ボカドを食べたことのない方もいらつしやうて初めての姿に驚いていました。見た目の色と味のギャップにも驚いていたようです。それだけ美味しかったということですね。アボカドと生ハムと玉ねぎスライスサラダ、ピザや餅もおいしいのでぜひお試しください。

かなりアドライブ外出

《とらや工房》

山本 健太



当日は、曇り、強風とあいにくの天気の中とらや工房へお茶をしに出掛けました。駐車場から店まで少し距離がありました。外の景色を楽しまれたり、大きく深呼吸をしたりと自然を感じながら、お店へ向かいました。店に着くと、注文した和菓子を「美味しい」と召し上がられました。一人の利用者は歌を歌い、他の利用者は紙に詩を綴っていました。詩：「少し寒い日でしたが、心の休息のひと



ときを過ごすことが出来ました。嬉しいひとときをとても快く過ごせました、ありがとうございます。また、暖かい日に行きたいです。

ケアハウス

御殿場アドナイ館

白井 禮子

入居者の様子

二月七日 散歩会の日で、秩父宮記念公園に出掛けました。恒例の「つるし雛飾り 展示会」が開催されていました。ケアハウスから公園までは、歩くのはちよっと距離がありますので、往復車で送迎してもらい実現しました。感謝です。

会場の休憩所に、中央の雛壇が置かれ、その両側にそれは見事なつるし雛がところ狭ましと飾られてました。ひとつ、ひとつは、小さなものなので、材料の布や紐を集めるのだけでも大変なことなのに、それを人形や動物や花などの形に細工する技術は、細かい仕事なので、ただ、ただ感服しました。今日は歩く距離が少なく散歩会本来の目的は達成できましたが、心を込めた雛飾りを堪能し、これから元気に暮らし、来年も又見に来たいなと思いつつ帰路につきま



〈ボランティア紹介〉

「リハビリメイク」

資生堂ビューティーボランティア



化粧品を通してスキンケアしながら言葉进行交流します。リハビリメイクは心のリハビリメイクにまで繋がって行くものだと思います。鏡を見ながら一生懸命指を動かし口紅を塗る姿。昔を回想しているのか？驚くほど上手に塗っています。頬に触れ「偉いね、頑張ったね」と声を掛けます。肩に触れます。「綺麗になったね。」と声を掛けると「そんな事ないよ。こんなお婆ちゃんだもの。」との返事には笑みが浮かんでいます。

施設に住まう方々、なでしこ会の方、施設を利用される皆さんに支えられ、今の私があります。本当に有難うございます。これから皆さんに素敵な笑顔の花を咲かせていきます。



介護力向上講習会を終えて

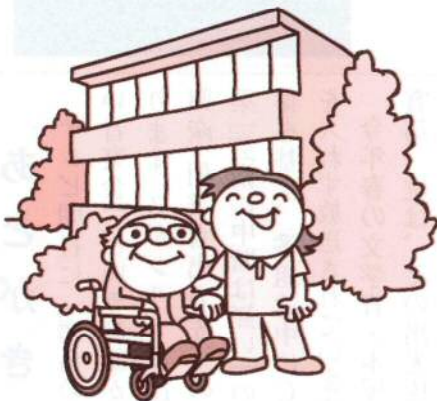
三階介護主任 高木 直也

三月二十二日、全国老協が主催する第九期介護力向上講習会が終了しました。計六回の研修・講習会で学んだことを持ち帰り、特養職員に伝達し、実際に対象の利用者さんへ取り組み始めていきました。大きく分ければ水分のケア、歩行に向けての取り組み、トイレでの排便（おむつゼロをめざして）、食事の常食化、認知症の症状をとる為のケアなど四つのポイントに分かれています。

約一年間この取り組みを振り返り、ケアは大きく変わり始め、利用者さんの変化を見ました。車いす移動でもう諦めていた方が元気で歩けるようになり、柔らかな食事しか食べられなかった方が常食（普通の食事）を食べるようになり、食事介助されていた方が自力摂取でき、トイレで用をたす方が増え、今年度でオムツ率三十六・八%から今では約十

九・八%に減少しました。講習一年目で各職員も戸惑いがあり、理解しきれず私も伝達しきれず、反省点が多くありますが、利用者さんが元気にシャキツとしてきた姿を見ると介護にやりがいを感じています。

来年度もこの取り組みは続きますが利用者さんの生活が豊かなものになるためには私たちがしっかりと勉強し、いかに介護のプロとしてのケアをしていくか。それが鍵になると言うことを痛切に感じています。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

1月分

玉川学院、日本キリスト教団三島教会、日本基督教団岩本教会、日本基督教団藤枝教会、女子学院宗教部、捜真女学校同窓会・PTA、日本キリスト教団富士教会・日曜学校、日本基督教団沼津教会

2月分

日本キリスト教団渋谷教会、山崎れい子、船津政代、捜真女学校高等部・中学部、東洋英和女学院中高部宗教委員会

3月分

一般社団法人玉穂報徳会、加藤喜美子、船津政代、麻

生邦雄、西村正子、日本基督教団岩槻教会、匿名

御殿場アドナイ館への寄付金

3月分

日本キリスト教団新宿西教会、麻生邦雄、匿名

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

1月

みくりや友の会、中里京子、市野はつ、厚生年金婦人部、アドナイ館、隆生会、AKI美容室、琴音会、赤十字奉仕団、御殿場教会、藤川けんグループ、市婦連福祉グループ、鈴の会、菅原幸和、クレル美容室、東山老人会、重野美恵子、井沼千代、高根婦人会

2月

みくりや友の会、厚生年金婦人部、中里京子、市野はつ、アドナイ館、AKI美容室、印野はざまの会、ビューティサロンヤマダ、ナカノ美容室、赤十字奉仕団、御殿場教会、弥生会、高橋文夫、隆生会、関根保子、高橋文夫、加藤正代、中曾根靖江、春風一路、鈴の会、なでしこ会、市婦連福祉グループ、斉藤淑子、重野美恵子、井沼千代、高根婦人会、OB、勝又えつ

3月

厚生年金婦人部、みくりや友の会、静岡県動物保護協会、動物ボランティア、AKI美容室、貢宝会、市野はつ、加藤正代、中曾根靖枝、中里京子、ビューティサロン山田、ナカノ美容室、御殿場教会、琴音会、赤十字奉仕団、隆生会、関根保子、資生堂リハビリメイク、なでしこ会、鈴の会、市婦連福祉グループ、渡辺弘子、芹澤菊枝、クレル美容室、勝又えつ、重野美恵子、井沼千代、菅原幸和

御殿場十字の園へのご寄付	
1月分 10件	75,000円
2月分 3件	85,500円
3月分 1件	181,776円
1~3月分合計20件	342,276円
4~3月分累計96件	2,442,140円
御殿場アドナイ館へのご寄付	
3月分 3件	48,000円
4~3月分累計3件	48,000円
ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。	
郵便振替口座 口座番号 00870-9-190162 口座名称 社会福祉法人十字の園 御殿場十字の園	
ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。	

ケアハウス「御殿場アドナイ館」入居者募集のおしらせ

事業所の名称	社会福祉法人十字の園 ケアハウス「御殿場アドナイ館」
所在地	静岡県御殿場市深沢1465-1
電話番号	(直通) 0550-81-5770
Fax	0550-81-5771
Web	http://www.jyuji.ne.jp/gotenba_adnai/
担当	御殿場アドナイ館 担当相談員まで

御殿場アドナイ館では、現在入居を希望される方を募集しております。お気軽にご連絡ください。



あとがき

テレビ朝日に『題名のない音楽会』という番組があります。スポンサーは出光興産。創業者出光佐三の言葉「芸術に中断は無い」の言葉を基に、番組途中にCMを入れず放送されています。

今年春の文学賞・本屋大賞第一位は、その出光佐三の自伝的小説『海賊と呼ばれた男』です。秘密裏にイラン原油を日本に運んだ日章丸二世。世界最大のタンカー日章丸三世(一三三、三三四トン)の建造等、日本造船史に残る史実を縦軸に物語が語られます。

この春の読書のお薦めとともに、この機関誌をお手元にお届けします。

(やまもと)

